

2018年(平成30年)8月2日(木曜日)

(第3種郵便物認可)

ブルーサンダーズ 2年前急死

「やくさん」しのび追悼試合



チームメートから「やくさん」と慕われ、大黒柱だった薬師神選手＝兵庫ブルーサンダーズ提供

三田で8日 記帳台、カード配布

野球独立リーグの兵庫ブルーサンダーズは2年前に急死した内野手をしのび、8日に本拠地・三田市のアメニスキッピースタジアムである公式戦を追悼試合として行う。薬師神真之さん(当時25歳)。三回忌に、かつて共に白球を追った選手たちは「成長したチームを天国から見てもらうためにも、いい試合をする」と誓っている。

寮で心肺停止の薬師神さんをチームメートが見つけたのは、2016年8月31日。搬送先の病院で死亡が確認された。前日の公式戦でも2安打、1打点と活躍していたという。故郷、愛媛県の宇和島東

高で甲子園を目指した薬師神さんは九州国際大を経て就職。でも野球が忘れられず、独立リーグの石川ミリオンスターズを経て2月に移ってきたばかりだった。

当時はチーム最年長で、兄貴分として他の選手たちに「やくさん」と慕われており、河村将督投手(25)は「打たれてベンチに戻ると『状況を見ながら落ち着いて投げる』とアドバイスされ、トレーニング方法も学んだ」。

日本プロフェッショナル野球組織(NPB)でのプレーは難しくても、薬師神さんは「ブルーサンダーズで大事に使ってもらい、ファンも応援してくれる。このチームに来て良かった」と話していたという。

死後、チームはユニホームと遺影をベンチに飾って残りのリーグ戦を戦い、3連覇を達成。左打ちの内野手が着けていた背番号「27」は、永久欠番になった。

追悼試合の相手は大阪の06BULLS。球場の正面玄関に記帳台を設け、新たに作った薬師神さんの野球カードを配る。試合前には追悼イベントも開催し、関係者が逸話を語る。

午後6時の試合開始前に始球式を務めるのは大阪府能勢町立能勢中2年森村海那さん(14)。女子ソフトボールクラブに所属した小学生時代、薬師神さんから指導を受けた経験がある。

当日、愛媛から駆け付ける予定の薬師神さんの父、浩二さん(56)は「三田で素晴らしい人間関係を築かせてもらい、感謝している。幸せな野球人生だったはず」と話している。